![C:\Users\zenrin\AppData\Local\Microsoft\Windows\Temporary Internet Files\Content.IE5\OYLOII2Q\MC900228485[1].wmf]()園長だより　　平成２８年度　　臨時２号

園長　平澤　正則

　　　　　　　―　創立百周年記念事業に向けて　その２　―

　　　　　　　　　　　記念誌づくりの最中，卒園記念写真に思う

　記念誌には過去の歴史をできるだけ載せたい，できれば写真等を多く用い，わかりやすいものにしたいと考えています。卒園記念写真は歴史を紹介する上で有効であり，それを１００枚，順に並べたいと思いました。全ての卒園生とその時の先生方全員が１枚の写真の中に集合して写ることにより，写真はその時代の雰囲気を感じることができるものになっています。その集合写真の価値の高さを，この仕事を通して，私は今強く感じています。

　当初の私が感じていた不安は，百年前からの写真で園に残っているものは少なく，本園ＯＢの藤株光子先生からお借りしたものが多くありましたが，それでもその数は７０年分くらいしかないということでした。そこで，卒園生であるＰＴＡの加藤さんや平岡さん，小貫さんをはじめとする保護者，記念事業企画委員，近隣にお住まいの卒園生の皆様などにお願いして残りの記念写真を集めることにしました。それから約１年，写真が徐々に集まってきましたが，私の知り合いだけではまだまだ足りず，ここ２か月くらいは卒園生名簿を片手に毎日のように見知らぬ卒園生の戸別訪問をしております。その甲斐あってか，２月２２日現在９５年分が集まり，残りは５年分となりました。ここまで来ると何としてでも全部集めたいと思うようになっています。

　そこで，保護者の皆様やこれをご覧になっている方へのお願いですが，次の各年度の卒園記念集合写真をお持ちでしたら是非それをお貸し願いたいということです。

　　第　１回卒園生＝大正　７年度卒園＝大正　元年度生まれ（各年度とも６歳で卒園のため）

　　第１１回卒園生＝昭和　３年度卒園＝大正１１年度生まれ

　　第５０回卒園生＝昭和４２年度卒園＝昭和３６年度生まれ

　　第５２回卒園生＝昭和４４年度卒園＝昭和３８年度生まれ

　　第６４回卒園生＝昭和５６年度卒園＝昭和５０年度生まれ

以上の年度の卒園生がお知り合いの方などにいらっしゃいましたらお尋ねいただけないでしょうか。

　話は変わりますが，卒園記念写真のＣＤ化に関しては，希望者に提供する，付録（補助）として提供することには賛成できますが，それ一本に絞ることに私は賛成できません。ちなみに，一時期流行ったＣＤアルバムも現在は下火だそうです。“いつでも（パソコンや電源がなくとも）どこでも（こたつのある部屋に持って行って見ることもでき）どのような見方（何年分の写真でもあっちのページやこっちのページを繰り返し見比べることなど）でもできる，いわゆる紙のアルバムが便利だと思う人が多いということだと思います。”

最後に，本園アルバムをお願いしている写真館の倉持さんからつい先日聞いた名言を紹介します。

『記念の集合写真は自分がどう映っているかを見るものではなく，他にどういう顔をしたどういう人がいたかを知るためのものである。今現在の自分の顔，姿を観るためのものではなく，５０年後，１００年後のために，そこにいた人たちのことを記録として残すものである。』私はそれを聞いて感動しました。まさに私がおぼろげに感じていたことをずばりと言葉にしてくれたのです。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（2017.2.24）